

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 6 月 30 日

長野県知事 様

年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和7年度		
会 社 名	イーアーツ電工株式会社		
住 所	〒395-0151 飯田市北方1584番地1		
代 表 者 名	代表取締役 木下 敦夫		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	総務部		
担 当 者 名	木下 文良		
連 絡 先	T E L	0265-48-6111	
	F A X	0265-48-6691	
	電子メールアドレス	f-kinoshita@eiw-arts.co.jp	

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

米印計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	7 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	9.5	8.0	11,864	10.265
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	3.0	2.5	3.57	3.79
売上高の推移 (円)	2 億 5 千万円	2 億円	2 億 2 千万円	1 億 7 千万円

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

各電気工事現場から排出される産業廃棄物は、電線、金属製品、合成樹脂類、梱包材、ゴム製品など。これらの種類の中には一体となった製品も含まれているものもありこれを分解して分別作業を今までと同様に会社で行う。

その後産業廃棄物処理業者に引き渡すことになるが、処理業者と連携協議して再利用に努める。

工事設計においては、廃棄物排出品及び数量をよく確認して排出量を軽減した研究を進め、その工程計画にも能率的かつ合理的な方法を探り実践する。

月ごと産業廃棄物の排出量に社員全員が関心持ち、その推移を共有して本協定の趣旨を推し進める。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	8年度 目標値	7年度 実績値	年度 実績値	年度 実績値
再生紙	10	10		
全 体	10			